

## 学会参加報告書

提出日 2015年 7月 8日

|                        |  |    |              |
|------------------------|--|----|--------------|
| 学籍番号                   | 14M001a  | 学系 | 健康科学・スポーツ医科学 |
| 氏名                     | 八角 卓克  |    |              |
| 学会等名 (正式名称)            | EUROPEAN COLLEGE OF SPORT SCIENCE  |    |              |
| 開催日程                   | 2015年6月24日 ~ 2015年6月27日  |    |              |
| 開催場所 (国・都市名)           | Malmö - Sweden   |    |              |
| 発表演題名                  | Co-Prevalence of cervical intervertebral disk degeneration and burner syndrome in collegiate-level American football players.  |    |              |
| 参加報告<br>・項目別に具体的に記載する。 | <p>&lt;学会の全体の印象&gt;<br/>バスケ、サッカー、バドミントン、マラソン向上といったスポーツ科学を中心とした学会であり、最先端の知見が発表されていた。参加者もヨーロッパの方だけでなく、欧米から来られた方も多く、世界的規模の学会であった。</p> <p>&lt;自分の研究と関連した発表とその内容&gt;<br/>Contact technique and concussion<br/>試合中の脳震盪を発生させる選手としない選手のテクニックを比較する。脳震盪10名と非損傷群83名をビデオ解析し、コタツク中の技術熟練度スコアを用いて得点化を行った。両群とも有意差はなく、得点も低い値を示した。しかし、脳震盪を発生させる選手は、脚の動きや肩の使い方、頭的位置といった技術的に問題があった。</p> <p>&lt;自身の発表への質問・コメント&gt;<br/>ポジションによる影響が大きいと思うが、その点はどうなのか<br/>ポジション別には圧倒的にディフェンスが多く、特にDB、DL、LBにおいて多発していた。</p> |    |              |

※ 補助金を受けた学生はこの学会参加報告書を提出すること。

提出期限は学会終了後2週間以内とする。

本報告書は学会参加報告書として日本体育大学総合スポーツ科学研究センターホームページ内に掲載されます。